

# BUDŌ NEWS

## 今月のニュース



平成24年 鏡開き式・武道始め



平成二十四年鏡開き式・武道始め

# 武道修業始めの日、さらなる飛躍を誓う



中山成彬大將軍による鏡開き



日本武道館の新春恒例「平成24年鏡開き式・武道始め」が1月9日、日本武道館で開催された。会場には武道関係者や愛好者2000名が集まり、武道功労者・優良団体表彰、鎧着初め式、模範演武、稽古会などが行われた。

当日は晴天に恵まれ、開場すると客席は続々と埋まっていった。

◇  
定刻の正午、大太鼓の合図で鏡開き式・武道始めは始まった。開会式

では、主催者を代表して松永光日本武道館会長が「昨年は東日本大震災があり、日本は苦しい時期にありました。しかし日本国民は復興のため、互いに助け合い、諸外国の人は、

日本国民はすばらしいと高く評価しました。そのような日本人の精神のもととなるのは、武道精神であると思います。日本に武道精神を復活させることが大切です。

今年の4月から、いよいよ中学校で武道が必修科目として行われます。本日お集りの武道を修業している皆様方には、青少年のお手本となるよう、武道精神を発揮して今年も各方面で活躍されることを期待します」と挨拶をした。

次に高村正彦武道議員連盟会長が「今年も武道始め鏡開き式が盛大に行われますことを心からお慶び申し上げます。今年から中学校の武道必修が始まります。日本人なら誰でも武道に触れたことがある、そういう状況がこれからできていきます。何が何でもこれを成功させたいと思います。そして武道の輪を日本中に、さらに世界に広げていくために、武道関係者の皆様方には、より一層のご健闘をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします」と来賓祝辞を述べた。

続いて久保公人文部科学省スポーツ青年局長が来賓祝辞として「新

しい年の武道修業始めとして年頭を飾るこの行事が、今年一年の我が国における武道振興の大きな弾みとなることを心から願っております。文部科学省といたしましても、昨年9月に成立したスポーツ基本法に基づいてスポーツを通じた国民の豊かな生活の実践をはかるとともに、人格の形成に大きな影響を及ぼす武道を子どもたちが学ぶことができる環境づくりを努めてまいりたいと考えております」と述べた。



開会式



日本武道館西口には大きな門松が飾られる



久保公人  
文部科学省スポーツ青年局長



高村正彦  
武道議員連盟会長



松永 光  
日本武道館会長



平成 23 年度武道功労者及び武道優良団体

|       |       |            |        |       |                    |
|-------|-------|------------|--------|-------|--------------------|
| 武道功労者 | 柔 道   | 加藤秀雄 (奈良)  | 武道優良団体 | 柔 道   | 千葉県柔道連盟            |
|       | 剣 道   | 児嶋 克 (鹿児島) |        | 剣 道   | 木刀による剣道基本技稽古法部会    |
|       | 弓 道   | 朝隈敏子 (福岡)  |        | 弓 道   | 三条弓道会              |
|       | 相 撲   | 清水武男 (大阪)  |        | 相 撲   | 日本女子相撲連盟           |
|       | 空手道   | 澁谷 孝 (東京)  |        | 空手道   | 財団法人全国高等学校体育連盟空手道部 |
|       | 合気道   | 渡辺 弘 (東京)  |        | 合気道   | 全国高等学校合気道連盟        |
|       | 少林寺拳法 | 小池孝忠 (岡山)  |        | 少林寺拳法 | 福島県少林寺拳法連盟         |
|       | なぎなた  | 梶山武子 (東京)  |        | なぎなた  | 山口県なぎなた連盟          |
|       | 銃剣道   | 大塚 亨 (北海道) |        | 銃剣道   | 宮城県立南郷高等学校銃剣道部     |
|       | 日本武道館 | 中山成彬 (宮崎)  |        |       |                    |

開会式に引き続き、日本武道協議会武道功労表彰式が行われた。武道功労者には表彰状と功労章、武道優良団体には表彰状が松永会長から手渡された。

表彰式が終ると、鎧着初め式に移った。暗転した場内に、甲冑武者たちが入場。照明がつくと、鎌倉時代の様式の鎧を身に纏ったその勇壮な姿に、観客からは驚きの声が上がった。

今年は、中山成彬日本武道館常任理事が大將軍役を、松永政美全日本剣道連盟副会長と白綾基之日本甲冑武具研究保存会会長が副將軍を務めた。

厳かな雰囲気の中、奉行の藤本巖日本甲冑武具研究保存会最高顧問の指揮で、まず「三献の儀」が行われた。これは出陣などのときに行う酒を飲む儀式である。続いて大將軍、副將軍らが神前に出て、「誓いの言葉」を奉読した後、鏡開きが行われた。

大將軍が掛け声とともに、掛け矢を振り下ろして鏡餅を豪快に打ち砕き、副將軍二人が鏡樽を開くと、



副將軍による鏡割り

会場からは拍手がわき起こった。その後、大將軍、副將軍は帰陣して兜を着用。甲冑武者全員が立ち上がり、大將軍が扇を振って「えい！えい！」と力強く発声し、一同が「おう！」と応える鬨が響き渡った。そして前軍、中軍、後軍の順で場内を練り歩き、鏡開き式は終了した。

続いて武道9種目の模範演武が行われた。最初の弓道の「一つの坐射礼」では、会場が静まり返る中、矢が的に当たると歓声が上がった。なぎなたは基本技、応用、試合を



◎大將軍

中山成彬 日本武道館常任理事



——初めての大將軍はいかがでしたか。

「新春早々、大將軍を務めさせていただく栄誉をいただき、心から感謝しています。今回、初めて大將軍として鎧兜を着けましたが、とてもずっしりとしていて、伝統の重みを感じながら務めさせていただきました。日本文化の

真髄というようなものを味わうことができ、良い経験になりました」

——武道功労章を受章されてのお気持ちを聞かせてください。

「各武道の受章された方々はそれぞれその道で貢献された方たちで、私はまだまだですが、これからも日本武道館の常任理事として武道の振興に努めろという叱咤激励の意味も込められていると思うて、ありがたく頂戴しました」

——いよいよ今年の4月から中学校で武道が必修となります。

「スムーズに武道必修化に入っていくけるよう、指導者や安全面について気をつけていかなければいけないと思います。日本武道館の果たすべき役割は非常に大事なものだと思っていています」

◎副將軍

松永政美 全日本剣道連盟副会長



「年の始めに当たり、昔を振り返ってこのような行事が行われることはいいことです。多くの人にこういう日本の歴史・伝統文化というものを身近にして、理解をしていただいたら、日本はもつとすばらしい国になると思います。鎧兜を着けるのは初めてですが、やはり気持ち引き締まりますね。鎧は重く、これを着けて戦った昔の人は大変だったことと思います」



鎧を着用し、勇壮な行進



弓道



なぎなた



柔道

## 模範演武



臼井日出男  
日本武道館理事長

行い、柔道では「古式の形」が演武された。銃剣道は「銃剣道対短剣道の形」と応用技、試合を披露。空手道では男女ナショナルチームが団体

形（女子「クルルンファ」、男子「ウンスー」）を演武した。剣道は「全日本剣道連盟居合」を、合気道は固め技・投げ技の基本技、短刀取りの応用技、自由技を行った。少林拳法は単独演武、女子団体演武、自由組演武を披露し、相撲では基本動作と技、決まり手の説明が行われた。



模範演武が終了すると、観客席にいた人々も稽古着に着替え、稽古会が始まった。大道場は、弓道を除く8武道の修業者で埋め尽くされた。全員が整列し、臼井日出男日本武道館理事長から「関係各位のご協力のおかげで鏡開き式を立派に行うことができました。いよいよ皆様方の出番です。本年一年間武道を通じて心身を鍛錬し、健康で大いに活躍

されることを期待いたします」と挨拶があり、一斉に礼をしてスタート。子供から大人まで約50分間稽古に励み、会場は熱気に包まれた。



稽古会の後は「おしるこ会」となり、大道場でおしるこや鏡割りの樽酒が振る舞われた。参加者はそれらを手に談笑し、今年一年の精進を誓い合った。





合気道



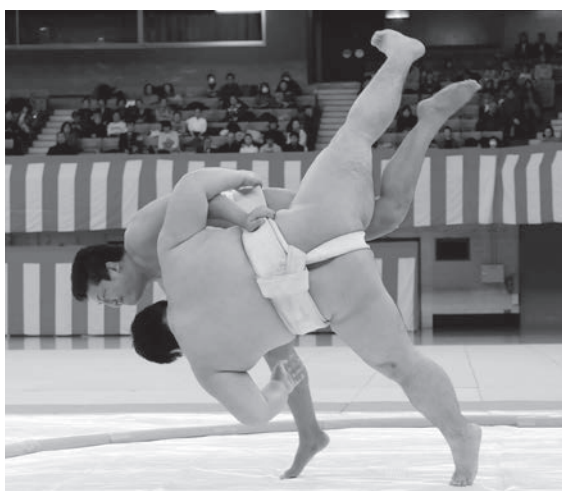
銃剣道



少林寺拳法



空手道



相撲



剣道

【演武者】

▽弓道 細川孝夫教士七段、月輪由紀子 錬士五段、鈴木康弘教士八段

▽なぎなた 谷本良子教士、徳地昌代教士、片庭江美教士、吉井和代錬士、谷本由香里四段、照井順子四段、小山知子四段、三上哲生四段、曾原幸太郎四段

▽柔道 瀧澤義人七段、小林修六段

▽銃剣道 佐藤亨範士八段、小川功教士八段、唐川敏博教士七段、加藤公久錬士六段、谷山健夫錬士六段、保志智康錬士六段、菅原誠五段、栗田健司五段

▽空手道 木村陽子四段、柏岡鈴香二段、森岡実久二段、在本幸司三段、杉野拓海三段、相馬昂翔三段

▽剣道 小倉昇居合道範士八段

▽合気道 小林幸光七段、金澤威七段、入江嘉信六段、櫻井寛幸六段、鈴木孝次郎五段、小谷佑一五段、小山雄二四段、日野皓正四段

▽少林寺拳法 荒井章士准範士六段、村瀬晃啓大拳士六段、田中由喜大拳士五段、梅林朱梨正拳士四段、中尾美保子中拳士三段、大嶋朋子正拳士四段、加藤千佳少拳士二段、佐藤七海少拳士二段、稲川真理准拳士初段

▽相撲 外田守七段、武田恭平四段、笠松亮太参段、直江正敏参段、棟方拓哉参段、岡田智成参段、後藤鷹輔式段





# 稽古会・おしるこ会





日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



## 日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



## BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

（翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット）

（B5判・上製・DVD付・336頁）

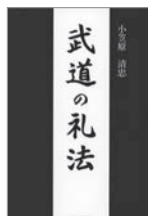


## 武士道に学ぶ

東京大学大学院教授

菅野 覚明 著

（四六判・上製・344頁）



## 武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

（四六判・上製・278頁）



## マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

（B5判・並製・236頁）



## 武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）



## <増補版> 私も武道経験者です

月刊「武道」記者

吉野 喜信 著

（四六判・上製・326頁）



## 今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



## 大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）



## 武道 過去・現在・未来

国際武道大学教授

田中 守 著

（四六判・上製・274頁）



## 武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

（四六判・上製・410頁）



## 武の素描

埼玉大学教授

大保木輝雄 著

（四六判・上製・220頁）

好評発売中



スポーツドクター 辻 秀一 著

四六判・上製・248 ページ

武道やスポーツは「医療である、芸術である、コミュニケーションである、教育である」とする筆者が、指導者のために書いた良きハンドブック。ぜひ、ご一読を。



### 主な目次

- 第1章 「文武両道」の人間教育
- 第2章 真剣勝負を楽しみ、人間的成長を図る
- 第3章 「セルフイメージ」という心のエネルギー
- 第4章 トップアスリートに学ぶ「社会力」
- 第5章 たかが目標、されど目標
- 第6章 「武士道書」に学ぶ
- 第7章 子どもたちの「社会力」を育てる
- 第8章 「オンリーワン」の子どもを育てる

ほんとうの価値の伝え方

# 武道スポーツの真髄



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ！

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158



# 講道館創立百三十年、 心新たに「正しい柔道」を伝えていく



上村春樹講道館長

これを受け、上村春樹講道館長が挨拶に立った。

「今年は講道館創立130年を迎えます。4月28日には記念式典を催すべく準備をしております。この記念すべき年にあたり、我々は心新たに、正しい柔道を後世に伝えていく責務を果たさなければなりません。」

4月から中学校で武道必修化が始まります。授業時間は短いですが、子供たちには困難に立ち向かうことが出来る強い心と体を身につけてほしいと思います。

今年行われるロンドン・オリンピックでは、選手の活躍が大いに期待されますが、礼節を重んじ、立派な態度で正しく一本を取る柔道を実践し、その上で目標を達成していただきたいと思っています」

次に形の演武が行われ、7つの形が披露された。続いて、少年部、女

子部、成年部の順で強化選手を相手に乱取稽古が行われた。その後、昇段者が発表され、上村館長から各段位の代表者に証書が授与された。

恒例のしるこ会では、参加者全員でしるこを食し、新年を祝った。最後は、西岡弘九段の発声で万歳三唱が行われ、式は和やかな雰囲気の中、お開きとなった。



形の演武（固の形）



少年部の乱取稽古

【形演武者】▽投の形Ⅱ取・鉄谷竜三六段、受・仮屋力五段▽固の形Ⅱ取・岩村衡六段、受・石堂勇人六段▽極の形Ⅱ取・向井幹博七段、受・道場良久七段▽柔の形Ⅱ取・鮫島元成七段、受・新藤菜美女子四段▽講道館護身術Ⅱ取・藤田真郎八段、受・眞喜志慶治六段▽五の形Ⅱ取・佐藤正八段、受・長谷川育男八段▽古式の形Ⅱ取・福島美智男八段、受・宗義明八段

# 龍のごとく勢いよく、しつかりと稽古を



植芝守央道主による奉納演武

合気会鏡開き式は1月8日、合気会本部道場で約1000名の参加者を集めて開かれた。

鏡開き式には大勢の参加者が詰めかけ、本部道場の2、3、4階に設けられた会場は、開始前から満員となった。午後2時、植芝守央道主が3階大道場に姿をあらわすと、参加者は一斉に背筋を伸ばし、視線を正面に集中させた。大澤勇人七段の司会式は進み、始めに植芝道主が年初の挨拶を述べた。

「合気道を通じて道を求める私どもは、社会状況がどのように変わろうとも、和合の心を大切にして、身の回りの生活を豊かなものにし、また、社会に貢献しなければならぬと思っております。今年は辰年です。龍のごとく勢いよく、しつかりと稽古をして、皆様と共に頑張ってください」

たいと思います」

次に、合気会役員を代表して古藤昇司常務理事、来賓を代表して山谷えり子参議院議員、保坂三蔵元参議院議員が挨拶に立った。

続いて、植芝道主による奉納演武が披露された。その後、推薦昇段者が668名の発表があった。初段から七段までの各段位の代表者と、八段位4名（針すなお氏、島田五郎氏、荒井俊幸氏、芝田信治氏）に植芝道主から直接、證書が手渡された。

直会の前には、多田宏本部師範が挨拶に立ち、続いて赤沼三己男理事の発声で乾杯が行われた。直会では参加者全員にしろが配られ、和やかな雰囲気の中、新年を祝い合った。



昇段證書授与

本部道場で稽古を重ねる山谷えり子氏は、参段位に昇段。この日、代表者として證書を受け取った



# 創始者の志を考え、行動でき、世のために役立つ人になろう



新井庸弘会長による技術指導

1月8日、「鏡開き・稽古始め」が香川県多度津町にある少林寺拳法連盟本部にて開催された。当日は、晴天に恵まれ、全国各地より約千人の拳士・保護者、関係者が訪れた。

午前9時30分、会場である錬成道場にて、鎮魂行、そして全体基本が行われ、その後、少年は第一錬成道場に、一般は第二錬成道場にそれぞれ会場を分け、初稽古が行われた。

一般拳士への技術指導は、新井庸弘会長が行った。剛法では「対天一」、「半月返」、柔法では「諸手巻小手」、「小手巻返」等の法形を指導。約200名の一般拳士たちが熱心に稽古に励み汗を流した。最後に、新井会長による技術披露で終了した。

また、少年拳士への指導では、突き、蹴りの基本を中心に行われ、大きく元気溢れる気合いが道場に鳴り

響いた。

午前11時5分、新井庸弘会長により年頭挨拶が行われた。冒頭、東日本大震災において、国内、海外の拳士、関係者から救済物資、義援金、励まし、応援メッセージが寄せられたことに対して感謝の言葉が告げられた。そして創始者の志である「半ばは自己の幸せを 半ばは他人（ひと）の幸せを」を考え行動できる人、また世のために役立つ人になるうと、力強く訴えた。

続いて演武披露があり、①連盟公認デモンストレーションチームの小學生・中学生による組演武②地元香川県の中学生、高校生による組演武③香川大学少林寺拳法部による団体演武④連盟公認デモンストレーションチームの親子演武（父・母・小学生）⑤一般組演武（本部職員）の順に行われた。それぞれ迫力と冴えの

ある演武に会場からは大きな拍手が沸き起こった。

続いて、昨年に引き続き、コース制（高齢者向けや女性向け等の健康増進のコース）デモンストレーションが行われ、参加者だけでなく、来賓や関係者に対しても興味を誘った。

正午からは、「演武会」が行われ、全国から約300名が元気よく演武を披露した。

また、終日境内では、新春にふさわしく、餅つきやぜんざいが振る舞われ、境内は拳士や保護者で終始賑わっていた。

昨年、少林寺拳法グループの組織機構改革が実施され、拳士はそれぞれの更なる決意を新たにした年の幕開けとなった。

（文・写真）少林寺拳法連盟



少年部の稽古風景

好評発売中

『人、人、人、  
すべては人の質にある……』  
少林寺拳法創始者・宗道臣先生に  
直接手ほどきを受けた著者入魂の  
武道教育論！

# 可能性の

# 種子たち

『魂』は生きるための生命力——  
『魂』は人間を善に導く原動力——

魂魄（こころ）が健全に育てば、豊かな感性や  
意思力、行動力などが備わり、やがて得るであ  
る多くの知識を、智慧とすることができ、  
子どもたちの躍動の一つひとつが、可能性の種  
子の芽生えなのである。

——魂魄（こころ）を育てる——

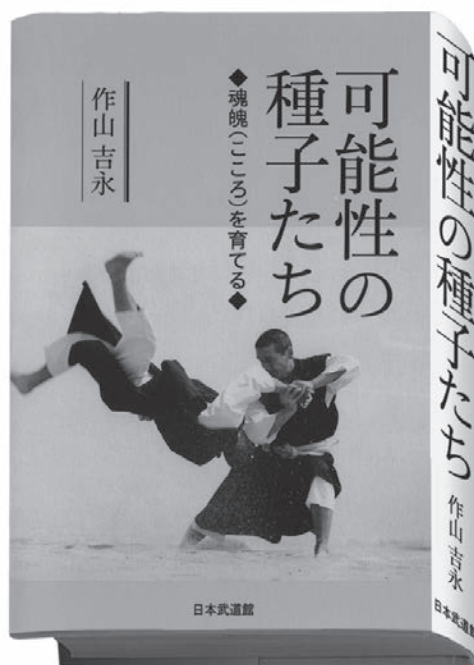
金剛禅総本山少林寺茨城高萩道院長

作山吉永 著

（四六判・上製・338頁）

## 主な目次

第1章 少林寺拳法／第2章 直心是道場／第3章 師事／  
第4章 マイ・アメリカ／第5章 可能性の種子、芽吹く／  
第6章 嵩山少林寺／第7章 魂魄（こころ）を育てる／  
第8章 新しい扉を開く



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ！

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158



日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)



## 日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



## BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



## 武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



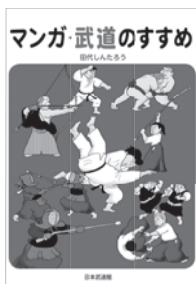
## 大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

# マンガ・武道のすすめ



漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！  
柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・  
銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、  
すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。  
大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

(B5判・236頁)



少林寺拳法は4話を掲載！

